

見知らぬ女性からの手紙——リーザ!もう……

涙でにじんで手紙が読めない!全女性に贈る愛の名作!



インターナショナル・プロモーション 提供

★スタッフ★

製作……………ジョン・ハウスマン
監督……………マックス・オフェールス
原作……………ステファン・ツワイク
脚本……………ハワード・コック
音楽……………ダニエル・アムフィシアトロフ

★キャスト★

リーザ……………ジョン・フォンテイン
ステファン……………ルイ・ジュールダン
ヨハン……………マルセル・ジュルネ
ジョン……………アート・スミス

忘れじの面影

Letter From an Unknown Woman



★アメリカ再公開記念ロードショー!!
今年には全女性にとつてすばらしい年になりそうです。もう情報通のあなたならおわかりでしょう。今アメリカでは、「真夜中の向う側」「愛と喝采の日々」等が、今年のアカデミー賞、ゴールデングローブを始め映画賞を独占しそうな勢いでつっ走っています。と同時に、全く新しい形態で「慕情」「哀愁」そして「忘れじの面影」の涙の三部作が公開され大変な反響を呼んでいます。オカルト映画、パニック映画等いわばおどかしの映像にへきえきした観客たちは、不況のはんえいと共にロマンを求め、ファンタスティックなドラマ、映像に憧れを求める結果といえそうです。まさに女性映画の年。この波はもうあなたのとこへおしよせて来ています。
私たちは、アメリカの熱気をそのままパツク、すばらしい美しさと共に貴女へプレゼントいたします。この作品のヒロイン、リーザの命をかけた純真な愛に、きつと感動の涙があふれ出ることでしよう。
★悲しみのヒロイン 二ジョン・フォンテインは、三大女優の一人!
「哀愁」のビビアン・リー、「カサブランカ」のイングリッド・バーグマンと並び賞される世界三大美女の一人です。
薄幸な少女から、目もさめるような女性へのぼりつめる時の美しさは、たとえようもなく私たちの胸をうちます。
★生涯にただ一度、一通の手紙を書くために生きた女の愛——詩情あふれる悲恋の名作!!
古都ウィーン。とあるアパートの前に停る一台の馬車。タキシードに身を包んだ男が降り立った。プレイボーイの誉高いステファン（ルイ・ジュールダン）である。彼は女のこと因で、明朝決闘する羽目になってしまった。しかし彼にそんな勇気は全くなかった。部屋に戻った彼

を待っていたのはリーザ（ジョン・フォンテイン）という女性からの手紙であった。
10年前、リーザはウィーンの下町に、母と二人で住んでいた。ある日、隣にハンサムで若きピアニスト、ステファンが移って来た。リーザの乙女心はステファンに夢中になった。だが、リーザは再婚する母と共にリンツに移転していった。数年が過ぎ、リーザは18才になった。美しい娘に成長したリーザに、義父は結婚を勧めた。涙るリーザ。彼女の心には未だステファンの面影が消えずにいたのだ。意を決してリーザは、再びウィーンに戻った。ステファンへの面影をいだいて……、そして再会。その夜、リーザはステファンの胸に抱かれた。しかしステファンにあっては、いつもの出等知るよしもなく——リーザの喜びも束の間、ステファンは公演のため一人でミラノへ旅立ち、帰って来るという約束の2週間が過ぎても戻って来なかった。リーザに愛の結晶が宿っている事も知らずに——。男の子が産まれた。その子にステファンと名付けた。9年の月日が流れ、リーザは結婚していた。夫婦で出かけた劇場で、リーザはステファンと再会した。しかしステファンは、リーザを忘れていた。悲しみに胸を痛めるリーザに、より深い不幸が訪れた。二人の愛のきずなであり、生きる全てであった子供が、伝染病にかかり幼い命を断ったのだ。リーザの必死の看病も空しく……然もリーザ自身も、その伝染病に感染し、今、死の瞬間を迎えていた。ステファンへの手紙は、リーザが、命つる時初めて捧げた愛の手紙であった。ステファンの目に涙があふれた。ウィーンの町が明けていく。ステファンは決闘を決意する。それはまた死を意味する事と知りながら……。
アメリカ映画
上映時間 1時間27分

★秋です!愛と涙の名作をあなたに……10月上旬一挙ロードショー!
「自転車泥棒」「忘れじの面影」お得な1000円の前売券発売中!

テアトル銀座

銀座1丁目・地下鉄京橋駅下車/(561)7938